

舗装の機能・ 性能の違い学ぶ

大成ロテック技研
専門学校生が見学



グ」で同社の各種舗装技術に触れながら学んだ。道路舗装の役割や社会インフラ整備への理解を深めた。

舗装の展示スペース「シヨールパーキング」では、生徒は排水性舗装や環境配慮型舗装など同社の各種舗装技術について説明を受け、実際の路面を歩きながら舗装ごとの機能や性能の違いを体感。その後、土木舗装工事や製品事業に関する講義を受講し、舗装技術やアスファルト合材、研究成果が社会インフラへ実装されるまでの流れを学んだ。

質疑応答では「AIの普及による建設業への影響」「同社が取り組む新たな研究」などについて活発な質問が寄せられた。同社社員は、AIは情報整理や業務効率化を担う一方、現場経験や技術者の知見は今後も重要であることや、カーボンニュートラルやDXを見据えた研究開発を進めていることを紹介した。

参加した生徒からは「授業では学べない最新技術を知ることができた」「身近な道路に多くの技術や工夫が詰まっていることを実感し、建設業への興味がさらに深まった」といった感想が寄せられた。

実際に舗装に触れて性能の違いなどを実感した（大成ロテック提供）

